1. 目的

シフトレジスタにより、bit 情報のメモリー、読み出し、パラレル(並列) ―シリアル(直 列)変換、シリアルーパラレル変換の原理を理解する。

2. 原理

シフトレジスタとは、複数のフリップフロップをカスケード接続したデジタル回路のこ とである。 データがその回路を移動していくよう構成されたため、シフトレジスタと呼ぶ 74LS164と、74LS194のピン配置、機能表を図 1~4 に示す。

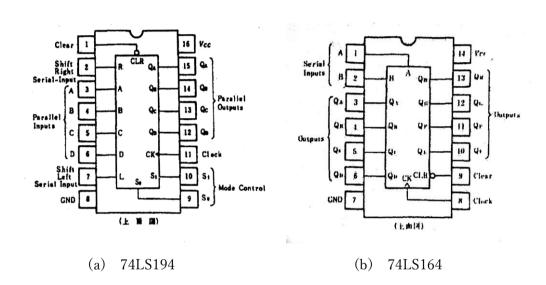


図1 各素子のピン配置

λ h							出		カ				
CLEAR	MODE		T	SERIAL		PARALLEL			0.	Q.	Qı	G,	
	SI	so	CLOCK	LEFT	RIGHT	A	В	С	D				
L	×	×	×	×	×	×	×	×	×	L	L	L	L
н	×	×	L	×	×	×	×	×	×	QAO	Qeo	Qco	Qne
н	Н	н	t	×	×	a	Ь	С	d	a	ь	c	d
н	L	н	t	×	Н	×	×	×	×	н	QAn	Qa.	Qc.
н	L	н	t	×	L	×	×	×	×	L	Q.a.	Q _B	Qc.
н	Н	L	1	Н	×	×	×	×	×	Q _B	Qc.	Qo.	Н
н	н	L	1	L	×	×	×	×	×	Qs.	Qc.	Q _D	L
н	L	L	×	×	×	×	×	×	×	QAO	Q.	Qco	Q.

H:Highレベル

L:lowレベル 注) 1. ×: "H", "l" のいずれでもよい。

^{3.} a, b, c, d: 入力 A, B, C, D の定常状態の入力レベル

^{5.} Qu. Qu. Qu. Qu.: クロックの最

	۲	7	b	出力			
Clear	Clock	A	8	Q _A	Q Q.		
L	×	×	×	L	L	Ĺ	
Н	L	×	×	QAO	Qao	Quo	
Н	1	н	н	н	Q _A ,	Qca	
Н	t	L	×	L	QAn	Qc.	
Н	1	×	L	L	Q _A ,	Qc.	

- 注) 1. H: Highレベル
 - 2. 1: LOW 1 ~ 1
 - 3. x : "L", "H" のいずれでもよい 4. † : "L" から "H" への選移

 - 5. Que, Que, Que: 表中に示された入力条件が確立する以前の Qu,Qu.....Quのレベル
 - 6. Q_{An}, Q_{en}, Q_{en}: クロックの最も近い†選移以前の Q_A, Q_e······Q_e のレベル

図3 74LS164の機能表

3. 実験方法

- 3.1 手順
- 3.1.1 74194 を用いて、4bit のシフトレジスタを構成し、次の動作を確認する。
 - (a) 右シフト動作
 - (b) 左シフト動作
 - (c) パラレル入力動作
- 3.1.2 上の回路の右シフト出力を 74164 の入力とし、4bit+8bit のシフトレジスタを構成 し、動作を確認する。

3.2 使用機器

課題通りのシフトレジスタを組み立てるために IC トレーナーを使用した。また、IC トレ ーナーの起動のために電源を使用した。さらに、目的のシフトレジスタを実現するために、 74164 (74LS164) と、74194 (74LSI94) と、線材を使用した。これらの規格や形式を表 1 に示す。

表1 使用機器と個数

品名	規格や形式など	個数
ICトレーナー	IC TRAINER	1台
	Sunhayato	
	MODEL CT-311R	
IC トレーナー用電源	AD-350 AC アダプタ	1台
	Sunhayato	
	INPUT AC100V 50/60Hz 6VA	
	OUTPUT DC7.5V	
ロジック IC	74164,74LS164	1台
ロジック IC	74194,74LS194	1台
線材(ジャンプワイヤ)	ピン径 0.6 φ	

3.3 測定法

ICトレーナーで組み立てたのち、回路が正しいか確認するために、出力を 7 セグメントに接続して、結果を確認した。

4. 結果・考察

4.1 実験結果

3.1 についての回路図を図4に、タイムチャートを図5に示す。

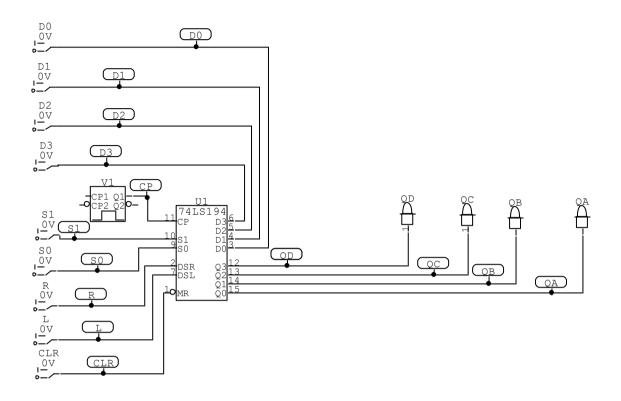


図4 4bit シフトレジスタの回路

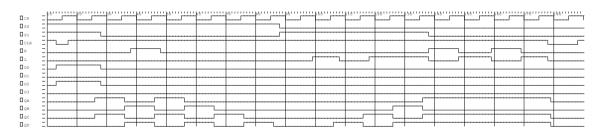


図5 4bit シフトレジスタのタイムチャート

3.2 についての回路図を図6に、タイムチャートを図7に示す。

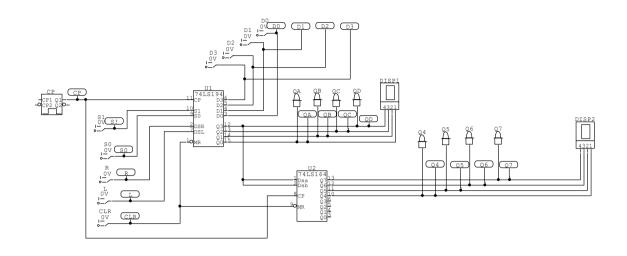


図 6 4bit+8bit レジスタの回路 1

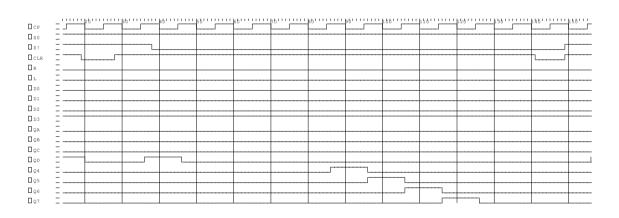


図7 4bit+8bit シフトレジスタの回路

4.2 考察

4bit シフトレジスタの最上位ビットの出力を、8bit シフトレジスタの入力に接続したことで、12bit のシフトレジスタを作成することができた。このことから、複数のシフトレジスタを組み合わせることで、任意のビット数のシフトレジスタを作成することができると考えられる。

5. 課題

課題内容

74194 と同じ動作を行う回路を

JK フリップフロップと NAND 回路のみで回路を作成し、回路図を示せ。

74194 の等価回路を図8に示す。

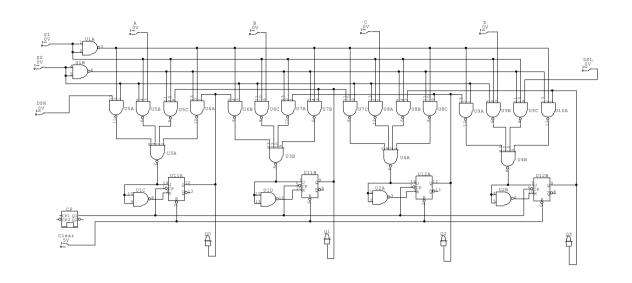


図8 74194 の等価回路

6. 感想・意見

シフトレジスタの原理を理解し、組み合わせた回路を組み立てることができた。また、大 きなミスを少なく収めることができたので、無駄のない回路制作となった。